

帯広市市民防災・減災懇話会（第2回）【議事要旨】

日 時／平成26年2月24日（月）18:00～19:00
場 所／帯広市役所10階第5A会議室

1. 開会

2. 挨拶

前田総務部長より挨拶

3. 事務局報告

委員17名中12名が出席しており会議が成立していることを報告。

4. 議事

（1）帯広市防災・減災指針（素案）のパブリックコメントの結果報告について

平成25年12月16日（月）から平成26年1月15日（水）まで意見募集した結果、災害時要援護者支援体制づくりに関して1件の市民意見があり、参考意見とした旨を事務局より説明。

【A委員】

1件ではあるが非常によい意見である。要援護者の中には高齢者が大半を占めており、今後包括支援センターと連携して体制づくりを進めていくことも必要である。

（2）帯広市防災・減災指針（素案）の一部修正について

前回の委員から意見と市議会総務文教委員会での意見を踏まえ、資料2のとおり素案を修正した旨を事務局より説明。

特に意見はなかった。

5. その他意見等

【B委員】

指針としての内容は充実したものとなった。しかし、主導する行政として、防災部局だけではなく、福祉部局や消防部局など庁内の横の連携を密にしながら実施してもらいたい。

【C委員】

実態として災害時要援護者対策はあまり進んでいない。また、取り組みに対して町内会毎に温度差がある。要援護者支援体制をより進展させるためには、町内会にアンケート調査を行うなどして現状把握に努め、各町内会や連合町内会毎に弾力的に対応していく必要がある。

6. 今後のスケジュール

- ・帯広市防災・減災指針は2月26日に開催する帯広市防災会議で報告した後に成案化する。
- ・本日の懇話会を持って委員の期間は終了となるが、今後、指針の進捗状況や防災施策の点検などについて、皆さまからのご意見を随時いただきたいと思っており、懇話会はこのまま継続して開催していきたい。次期委員については、別途個別に依頼したい旨を説明。

以上